

新型コロナウイルス感染症蔓延予防対策における申し合わせ事項

①全体に関わって

- ・(公財)全日本空手道連盟感染症拡大防止ガイドラインに基づき、選考会は無観客で行うものとする。
- ・選考会関係者(選手・役員・選考員)入館時に体温チェックを受ける。
- ・当日、以下の項目に当てはまるものがあれば、入館・参加を見合わせる。
 - ☐ 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合
 - ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合
 - ☐ 過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・開閉会式は行わない。
- ・保護者は送迎のみとし、原則入館しない。
- ・開放可能な出入口扉及び窓は、常時開放し、良好な換気状態を保つ。
- ・アリーナ出入口、各コート等複数個所に消毒液を配置。各自こまめな手洗い・手指の消毒を行う。
- ・競技中の選手以外は、全員マスク着用を原則とする。
- ・ゴミ袋を持参し、鼻水、唾液がついたゴミやマスク等のゴミは必ず持ち帰る。
- ・選考会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し速やかに報告すること※報告先個人→主催者→(公財)全日本空手道連盟
- ・受付・待機中・競技中など、選考中は常に、会場内でのソーシャルディスタンスを確保する。
- ・他の施設利用者との接触を極力避ける。(出入口の指定等)

②受付に関わって

- ・入館時に発熱(37.5度以上あるいは平熱より1度以上高い)があった選手は、辞退して下さい。
- ・受付時に「健康管理チェックシート」を提出する。※提出がない選手は受けられない。

③選手に関わって

- ・競技が終わった選手から順次退館、帰宅する。応援等で残ることはしない。

- ・選手の荷物は定められた場所に置く。※男女ごと場所の指定・使用間隔を指定します。
- ・マスク着用が原則。着用しない場合は選手同士の距離は2 m以上確保する。
- ・競技中の選手以外はマスク着用を原則とする。
- ・選手は競技中のみ、マスクをはずしてもよい。（マスクを入れるためのビニール袋やケースを持参する）
- ・待機中は必ずマスク着用。マスク着用時も他の競技者との距離は1 m以上空ける。
- ・練習会場（2階武道場）
- ・ホールでの飲食は可能だが、食事中が一番感染リスクが高いため、向き合って食べるなどないように注意する。
- ・防具・タオル等の使いまわし、飲み物の回し飲みは禁止とする。
- ・練習時はマスクまたは、メンホーを着用すること。
- ・競技中及びアップ場所での私語は控えること。※指示に従わない場合、退場を余儀なくされることもあります。

④形競技

- ・形競技、中学生は男女学年別で行い、高校生以上はカテゴリーのみ別で行う。
- ・競技中コート開始線に立ち形名を申告する。
- ・形名の呼称と、競技中の気合い発声は可とする。
- ・競技方法は要項記載の通りとする。

④組手競技

- ・組手競技、中学生は学年別で行い、高校生以上はカテゴリーのみ別で行う。
- ・競技時間は約1分とするが、時間前に終了となることもある。
- ・防具の共有、貸し借りは絶対にしない。
- ・メンホーをつけているときのみ、マスクを外してもよい。
- ・接触・飛沫感染予防、熱中症対策を考慮して、メンホー下部にシールドを付ける。
- ・競技中の気合い発声は可とする。
- ・試合前後に防具の消毒を行う。手指に加え、足裏の消毒も行う。